

学校長式辞

雪と寒さの冬も終わり、柔らかな春の日差しを感じさせる本日、30名の卒業生が学び舎を巣立つ日を迎えました。卒業証書授与式を挙げていきますことに心から感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの晴れの門出を心から祝福いたします。卒業証書を手にした今、改めて義務教育を終えることを実感するとともに、ひとりひとりの心にはこれまでの出来事が蘇ってきているのではないかと思います。

感染症拡大の影響による混乱で例年通りの学校生活が叶わない中、皆さんは長万部中学校の良き伝統を引き継ぎ、最上級生として学校行事や学業、部活動で立派にリーダーシップを発揮し、苦しい状況で最大限の成果をあげてきました。辛い時にも大変な時にも努力し続け、自らの道を切り拓き、学校生活を充実させることができました。

本日の卒業証書授与式は本校を巣立っていく日であると同時に、新たな旅立ちの日でもあります。夢や希望に胸を膨らませ、自覚と決意を新たにして堂々と次の一步を踏み出してほしいと思います。その門出にあたり、三つのことを皆さんにお願いします。

一つ目は「常に明るく笑顔を忘れない」ことです。世の中にはうまくいかないことの方が多いです。失敗したり苦しくて悩んだり、多くの困難と向き合うこともあるでしょう。そういう時こそ、にこにこ朗らかに過ごし、前向きにポジティブに乗り越えてほしいと思います。

二つ目は、「誰とでも仲良くする」ことです。皆さんの周りにはいる人々や何らかのつながりを持つ人々は今後も増え続けるでしょう。意見が合わない人、自分にとって苦手な人など、様々な人々との関わる場面もあるはずです。そんな時でも「仲良く」できる方法を探し、「うまく関わる道」を探って欲しいと思います。人間は一人では生きていけません。他への感謝の気持ちを表すことで自分の生活を充実させることができます。

三つ目は、「何事も元気よくする」ことです。あいさつや返事を小さな声でしていても印象は良くなりません。はつらつと元気よくしている人には、幸せがやって来ます。

これら三つのことは、今年度私が皆さんに言い続けてきた「明るく・仲良く・元気よく」という合い言葉です。また、人生で経験することには「無駄なことは一つもありません。」失敗も自分にとって無意味に思えることも、いつかきっと役に立つことにつながっています。さらに、「乗り越えられない試練は与えられない」と心に止め、様々な課題や困難に打ち勝つたくましい心を持ち続ける姿を大いに期待しています。皆さんが中学3年生として過ごした2021年から2022年には、夏季・冬季のオリンピック・パラリンピックがありました。コロナ禍の中で、様々な工夫や知恵を結集し多くの人々の努力と汗が素晴らしく感動的なイベントを創りあげました。夏季大会の応援ソング桑田佳祐が歌う「SMILE～晴れ渡る空のように～」には、次のような歌詞があり、我々に「どんなときも逆境を跳ね返すことができるはずだ」と語りかけ、強く背中を押されます。「情熱を消さないで 歩みを止めないで この世に生まれた以上」「悪戯な運命(さだめ)にも 心折れないで でなきゃ勝利はないじゃん!」これらの歌詞をもう一度噛みしめ、心の支えにしてくれることを期待しています。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。生徒たちは義務教育の課程を終え、これからそれぞれの自立に向け新たな道を歩み始めます。これからも、よき親として、また、よき人生の先輩として温かい目でその成長を見守っていただきますようお願いいたします。

結びになりますが、これまで卒業生に多くの手を差し伸べ支えていただきました町関係者をはじめ地域の方々に対し、深く感謝いたしますとともに、今後とも変わらないご支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

巣立ちに向けて

受検を終えた3年生が奉仕活動として、教室やトイレなどお世話になった場所を徹底的に清掃しました。全員が爽やかな顔で取り組む姿に「もうすぐ卒業…」というちょっと寂しい気持ちを持ちました。



後輩の思い

